

# 大学との連携

## 1 順正学園との連携

高梁市の順正学園(吉備国際大学・吉備国際大学短期大学部・順正高等看護専門学校)と本校は、2002年12月19日に同学園国際交流会館で、連携協力協定に調印しました。協定内容は○教官の相互派遣  
○講義・実習の受け入れ○図書室やスポーツ施設の利用○部やクラブの交流など包括的な連携協力です。これにより、高梁の学園文化都市づくりや社会に貢献できる人材の育成を目指して、現在多くの連携事業が行われています。

\* 学校法人「高梁学園」は平成22年4月1日より、法人名「順正学園」に名称変更となりました。  
さらに、「順正短期大学」から「吉備国際大学 短期大学部」に名称変更となりました。

### H21年度 連携事業の一端を紹介

#### その1・・・家政科の実習

家庭科の専門科目「家庭看護・福祉」の2年次生の授業では、「清潔の介助」「食事の介助」「人工呼吸・心臓マッサージ」の実習を、充実した施設・設備のある順正短大で行いました。また3年次生の同科目の授業では、コミュニケーションの取り方やレクリエーションの方法について短大の先生から直接講義を受けました。

～生徒のコメントより～

- 高梁高校にない専門的な施設・設備で実習に参加でき、貴重な経験となりました。
- 介護の知識や技術だけでなく、相手の立場に立った思いやりの心、温かい心の大切さを学びました。



## その2・・・授業連携

平成17年4月から本校生徒が順正短期大学に出向き、短大の先生から短大生と一緒に授業を受けることによって、単位が認定されています。

受講科目は「幼児理解」(火曜日の5・6限)と「レクリエーション実技」(金曜日の5・6限)でいずれも家政科の2年次生が学んでいます。

～生徒のコメントより～

○短大の先生が語ってくれるお話は最高です。私は、将来、保育士志望なので、先生のように子ども達にお話を聴かせてやれるように頑張ります。

○レクリエーション実技は介護士や保育士にとって、とても大切な技術で、専門の先生から短大生と一緒に楽しく学ぶことができうれしかったです。



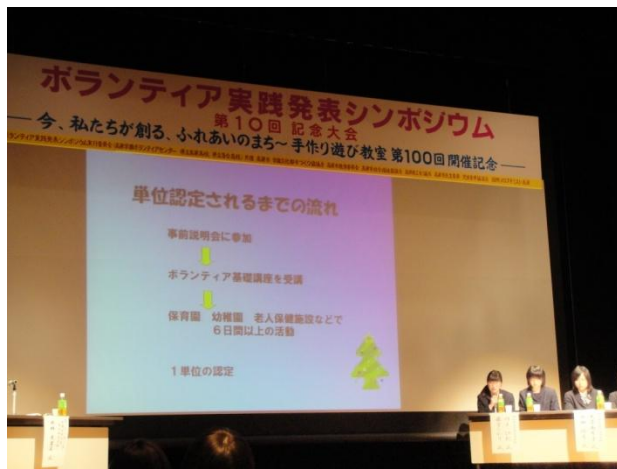
## その3・・・ボランティア

単位認定を伴うボランティア活動を始める前の基礎講座として、7月には、吉備国際大学の先生からボランティアの心構え等を学びました。また実践後の12月に開催されたボランティア実践発表シンポジウムにも参加し、実践発表を行いました。

～生徒のコメントより～

○他の高校生や大学生、一般の人たちの発表を聴くことができ勉強になりました。

○自分達のしてきたことを地域の人に知ってもらうことができよかったです。ボランティアの心が広がり、さらに高梁が住みやすいまちになるよう、これからもボランティアを続けていきたいです。



## 2 他大学との連携

### 普通科

2年次生の秋に岡山大学を訪問しています。希望する学部に分かれての1日進路体験学習は、午前中に各担当教授による学部・学科の説明が行われ、午後からは岡山大学で実際に学んでいる在学生から受験のテクニックや大学生活の様子などの生の声を聴くことができ、大変参考になりました。



# 家政科

1年次生の秋に中国短期大学とくらしき作陽大学を訪問しています。希望する講座に分かれての1日進路体験学習は、午前中に中国短期大学を訪問し、保育などの実技体験をした後、午後からはくらしき作陽大学で食品流通に関する講義を受けました。専門施設・設備の見学もでき、将来の夢が広がりました。

